

2015年2月17日

日本航空株式会社

## エボラ出血熱感染地域への中古救急車輸送を実施

～提携航空会社を活用し輸送を手配～

JAL は、一般社団法人日本外交協会（以下、「日本外交協会」）が実施する西アフリカのエボラ出血熱感染地域に対する支援として救急車を寄贈することに伴い、ギニア共和国のコナクリまでの当該車両の輸送手配を行います。輸送は JAL が手配した提携航空会社の定期便やチャーター便にて行い、救急車 6 台は 2 月 25 日に現地に到着する予定です。

日本外交協会によって、「リサイクル援助事業」として日本国内で役割を終えた緊急車両などを開発途上国へ寄贈する活動が続けられています。

西アフリカ地域でのエボラ出血熱は、現状では、新たな感染者の人数が減ってきていることが確認されていますが、完全な終息には至っていません。こうした中で、当該輸送は JAL の貨物便によるものではないものの、提携航空会社との連携や貨物取り扱いのノウハウなど JALCARGO の経験、技術を最大限活用し、実施します。

JAL は、今後も航空運送事業を通じた様々な社会貢献に取り組んでまいります。



2月16日 成田国際空港での出発式の様子